

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	239	3年	後期	看護学科	必修	在宅看護論実習 Clinical Practice in Home Care Nursing	90	2
担当教員								
窪田 静	長尾 奈美	瀬戸 裕一		河野 瑠奈				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
様々な療養の場や療養時期における看護活動への参与観察を通して、様々な健康状態や多様な生活状況にある療養者とその家族のQOL向上をめざした在宅看護の実践能力を養う。								
到達目標（授業目標）								
1. 様々な健康状態や多様な生活状況にある療養者とその家族の生活上の望みに関心を持ち、参与観察やコミュニケーションを通して主体的に関わることができる。								
2. 療養者の生活上の望みとそれに影響を及ぼす要因を身体的、心理的、家族・介護状況、環境の側面から総合的に判断できる。								
3. 長い療養生活における療養の場や療養時期に応じた看護活動の特徴を理解できる。								
4. 療養者とその家族の生活を支えるための制度や社会資源活用の意義を説明できる。								
5. 長い療養生活を支えるための継続看護のあり方や連携のとり方について理解できる。								
6. 長い療養生活を支える看護師の専門性を捉えることができる。								
（実習要綱参照）								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
授業概要	1 実習場所：松山市周辺の訪問看護ステーション、松山赤十字病院							
	2 実習期間：2週間、実習時間：概ね8:30～17:30（実習施設により異なる）							
	3 実習展開：詳細は実習要綱、e-study上で配信及び実習時に配布する資料を参照							
成績評価方法及び基準								

実習評価表（100点）の項目について、実習内容及び到達度、実習態度を点数化し評価する。60点以上を合格とする。

教科書	正野逸子・本田彰子「関連図で理解する在宅看護過程第2版」（メヂカルフレンド社） 臺 有柱 編集(2022) 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア第7版（メディカ出版）;2年次・3年次に在宅看護対象論・方法論で使用したもの 臺 有柱 編集(2022) 地域・在宅看護論(2)在宅療養を支える技術第2版（メディカ出版）;2年次・3年次に在宅看護対象論・方法論で使用したもの 窪田静（2019）「楽に動ける福祉用具の使い方」（看護協会出版会）;2年次に在宅看護対象論で使用したもの
参考図書等	山田雅子編集（2014）映像で感じ、考える、これからの在宅看護論全5巻（東京サウンドプロダクション） 戸村ひかり（2019）よくわかる退院支援（Gakken）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

指定した事前学習、実習に必要な予習復習等を行う。

関連科目

前科目	237	在宅看護対象論	238	在宅看護方法論	166	社会保障制度論（共	167	保健医療福祉行政論	231	地域看護学概論
後科目	242	看護アセスメントⅢ	249	総合実習						

実務家教員

看護師（医療機関）	窪田 静	長尾 奈美				
保健師（行政機関）	瀬戸 裕一	河野 瑠奈				

備考	
----	--